

研究主題

「主体的に学び、確かな学力を身に付ける生徒の育成」  
～学びの活性化と深まりを意図した協同的な学習を通して～

主体的に学び、確かな学力を身に付ける生徒

【目指す生徒の具体像】

- 目的意識をもって学習に取り組める生徒
- 自ら学びを振り返り、新たな目標をもてる生徒
- 学んだ知識や技能を活用することができる生徒
- よりよく問題解決する資質や能力を身に付けた生徒

協同的な学習を取り入れた  
授業づくり

協同的な学習

- 学びの活性化を図る(課題意識)  
「何のために」「どのように」
- 学びの深まりを図る  
「新たな考え方の発見」
- めあてと振り返り

「学びの構想シート」の活用

「目指す生徒の具体的な姿」  
を明確にイメージして

☆生徒の学びの姿に着目

☆生徒の学びの姿から授業改善

学びを見る会

課題解決のための手立てに沿って、生徒の学びの様子を記録する

学びを語る会

- ◆教科部会  
専門的視点で
- ◆学年部会  
生徒の新たな側面への気付き

「**生徒の学びの姿**」から授業をつくる

# 1 協同的な学習を取り入れた授業づくり

## 協同的な学習

- お互いに顔を合わせて語り合い、共同作業をする学習
- 話し合いをして、個人がもっている考えや知識・力・スキルなどを出し合う学習
- 意見交流することで、自己の考えや力を深めたり高めたり広げたりする学習
- 分からないことをすぐに聞くことができ、安心して学び合える場にする学習

### 学びの活性化

- 学びの見通しをもてる
- 課題提示の仕方により、多様な意見を出せる
- 新しい視点を得ることで、学び合いが活性化する

めあて

- 【導入】 気付きを広げるために  
意見や考えをもつために  
計画や予想を立てるために
- 【展開】 意見や考えを交流するために  
まとめたり深めたりするために  
学習を練り上げるために
- 【終末】 自己評価や他者評価をするために  
次時の確認や準備をするために

振り返り

※ 必要な場面で、協同的な学習を設定

### 学びの深まり

- 友達の多様な考えに触れることにより、ものの見方や考え方が広がり、自分の考えが深まる



ここはもっと具体的に書いてみるとどうかな。

そうだね、そうすると読む人も分かりやすくなるね。

「対等性と平等性」を重視した協同的な学習を進めるために

- 4人グループを基本
- グループは約1ヶ月ごとに変更
  - ・仲間意識を育てる
  - ・聞き合える関係づくり
  - ・自己存在感、自己有用感を高める
  - ・安心できる居場所づくり

生徒同士の交流活動や言語活動が活発に展開

## ポイント

話し合いをグループから学級全体へつなげる～より協同的に～

- 目的を明確にしたグループでの話し合いのパターン
  - ・一人の意見に絞る
  - ・共通点を出す
  - ・意見を出し合う
  - ・よいところを出す
  - ・精選する
  - ・分類する
  - ・順位をつける
  - ・新しい意見にまとめる
  - ・賛成と反対
  - ・違う視点で考える

- 学級全体での話し合いのパターン
  - ・考えをまとめる（集約型）  
結論を導き、課題を解決する。
  - ・少数意見や疑問を抽出する（探求型）  
他グループの働きかけにより、解決したりさらに深めたりする。
  - ・広げ、深める（並列型）  
さまざまな考え方を聴くことで、自分の考えをさらに深める。

教師のファシリテート（つなぎ役）が重要



## 2 「学びの構想シート」の活用

【学びの構想シート】 授業日 5月2日(水) 3校時 1-4 授業者 ○○ ○○  
 (別実施日 5月8日(火) 1校時 1-3・5月9日(水) 3校時 1-1)

### 1 学びを見る会

別日での参観も可能

社 会	単元・題材名	「世界の様々な住居」		全 10 時間中の 10 時間目
【単元の目標】 地域で異なる自然環境の違いを写真や雨温図から考えることができる				
【本時のねらい】 世界各地の気候の特色を、それぞれに地域で暮らす人々の生活様式や住居の特色を写真に注目して読み取る。				
【本時の視点】 世界各地の特色を読み取る場面で、住居や植物に注目してその特色を考え、伝え合うことで、根拠をもって気候の特徴を考えている姿を見てください。				
主な学習活動	時間	教師の活動・指導上の留意点等	学びの様子	
〈導入〉 6枚の写真を緯度の順に並べかえる。	5	・写真から気候のイメージをもたせるために行う。	「学びを見る会」で見られた生徒の学びの様子を記入し、「学びを語る会」で報告する	
めあて	さまざまな地域の写真から気候の特色を読み取る			
〈展開〉 写真3で住居や	10	・読み取る視点を確認し、このあとの活動につなげる。	協同的な学習がどのように進んだのか、また停滞した部分があったか等を記入する	
「協同的な学習」の場면을波線で囲う				
・各班で写真 2・4・5 についてこれまでの視点をもとにし、特徴を読み取る。 ・読み取った特徴から、気候の特色を考える。	30	・住居の特色から読み取る。 ・2・4・5 以外の写真も提示し、比較して	課題を解決するための学び合いの目的を明確にする 話し合いのパターンを記し、参観者にも見取りやすくする 本時の学びを通して予想される生徒の振り返りを記入する	
〈終末〉 振り返り	5			

## 3 「学びを見る会」「学びを語る会」

### 学びを見る会

生徒の学びの姿に着目

#### 【ポイント】

- 見通しをもったの取り組み状況
  - ・「本時のめあて」を意識し、仲間と共にゴールを目指して活動に参加できているか。
- 学び合いの中での生徒同士の関わり
  - ・互いに意見を出し合うことで、主体的に取り組んでいるか。
  - ・学び合いを通して情報を共有することができているか。
- 教師の発問・指示に対する反応
  - ・どのような反応を示したか。
  - ・考えや活動がどのように変化したか。

教師の「○○」という問い掛けに対してAは「○○○」とつぶやいているな。

Bは自分とは違うCの意見を比べながら聞いているな。

Dは発言は少ないが、Eの発言を受けて資料を使って調べているな。



### 学びを語る会

生徒の学びの姿から授業改善を図る

#### 【ポイント】

- 生徒のつぶやきや発言、表情等について参観者の見取りを報告する。
- 参観者は1回以上、必ず発言する。
- 生徒が主体的に取り組めた場面、逆に活動が停滞してしまった場面それぞれについて、なぜそうなったのかを検証する。
- 授業者は学びを語る会后、授業構想の振り返りを行い、授業改善につなげる。

#### 〔学年部会〕

- ・生徒のことを分かっているのだから、クラスの様子などを交えて、実態に合わせた授業改善について話し合うことができる。
- ・今まで気付かなかった生徒の姿を知ることができる。

#### 〔教科部会〕

- ・専門的な視点から生徒の学びを検証できるので、より効果的な手立てを考えることができる。

+

※学びを語る会では、学年・教科部会を同時進行で行い、最後に全体で共有します



## 4 成果と課題

### 〔成果〕



子持中で  
学んで  
よかった！

自分の考えを伝えることへの抵抗感がなくなった。

分らないことを友達に聞くことができるようになった。

自分の考えを伝えられるようになり、自信がついた。

自分にできることを見つけ、取り組めるようになった。

授業以外の場面でも、積極的に発言したり、行動したりできるようになった。

クラスに居場所ができ、学校が楽しくなった。

学び合いで身に付いた力



「生徒の姿(学びの様子)を見ること」への意識が強くなりました。



今までは「教える」ことへの意識が強く、教師主導で授業を進めていた気がします。生徒の姿から授業改善を考えるようになったことで、生徒の思考に沿った授業構想ができるようになりました。



グループのどの意見を抽出するかを見極めるために、生徒の学びの様子を観察するようになりました。どの順番で意見を取り上げ、どのように展開していくかを構想することで、授業力が高まったように思います。

### 〔課題〕

- ・タイムマネジメント：めあての提示から振り返りまでを意識して行うことで、学びが生まれる。そのためには、生徒が見通しをもって主体的に学び合える課題の設定と一単位時間を見通したタイムマネジメント力が求められる。
- ・単元構想：生徒が見通しを持って授業に主体的に取り組むためには、単元構想を明確にし、単元全体を見通したよりよい課題を設定する力が求められる。

## 5 まとめ

### 【コロナ禍の中で・・・】

協同的な学習を取り入れた授業ができない時期があった。これまで当たり前のように取り入れていた学び合いができなくなったことで、その価値や有効性について、改めて気付くことができた。再開後に多くの生徒が、(学力に関係なく) 友達の意見を聞くことで自分の視野を広げ、考えを深めることができることのよさを強く感じ、また、自身の居場所づくりにつながっていたと感じていた。また、私たちも、学び合いができない中で、生徒が主体的に授業に取り組めるためにはどんな授業を行うべきなのか、生徒の姿を想像しながら試行錯誤の毎日だった。その中で生徒の様子やノートの記述などをより深く見るようになり、再開後にこれまで以上に意図を明確にして、授業構想や生徒の見取りができるようになってきた。

### 【授業改善以外のよさや成果】

生徒の姿を注意深く見るようになったことで、テストでは計れない生徒の力の伸びを感じる瞬間に数多く立ち会えた。特に、授業以外でも生徒の些細な変化に気付くことができるようになり、早期に対応ができるようになった結果、不登校生徒の減少にもつながった。